

第26回実科指導員教育を実施しました

[期 間] 令和4年3月8日（火）から10日（木）まで

3日間（24時間） 通学

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 現場における実科訓練に必要な訓練礼式及びポンプ操法の指導技術の向上が図られ、実科指導員としての業務を遂行できる。

[教育対象] 実科訓練の指導者又はその予定者

[修了者] 21消防本部（局）39名（男性39名）

うち、ポンプ車操法31名、小型ポンプ操法8名



熊谷市消防本部 森 智則 消防司令補

修了しての感想

例年より短く凝縮された訓練でしたが、総括をはじめ各教官の効率的かつ効果的な御指導のおかげで、とても身になる教育課程だった感じております。

ポンプ車操法は、私たち消防職員の基本であり、総括教官からのお話にありましたが、「操法の基準には必ず意味がある。」ということ、つまり初心に帰り基本を確認する重要性を改めて学ぶことができました。

ポンプ車操法の一部改正があり、若干戸惑うところもありましたが、担当教官の親切丁寧な御指導により確実に身に付きました。所属に戻り、職員や団員の方々にしっかりと伝えます。



後輩へのメッセージ

今回の教育課程を終了し、事前準備は必要不可欠であると実感しました。訓練内容が細部にわたりますので、各番手の一連の流れを確認しておかないと後れを取ってしまうこともあります。

ポンプ車操法を経験している消防団員の方々は、各番手について細かな質問をしてくるので、しっかりと対応できるように準備が必要です。

この教育訓練は、今後の消防人生で必ず役に立ちます。横の繋がりを図りつつ、身になる教育期間にしてください。応援しています。



入校ガイダンス



座学



小型ポンプ 操法報告要領



小型ポンプ 操法ホース展張要領



ポンプ車操法吸管伸長要領



放水要領